

2024年9月26日

各位

株式会社三井住友銀行

ニチモウ株式会社への「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の提供について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）（以下、「三井住友銀行」）は、ニチモウ株式会社（代表取締役社長：青木 信也）（以下、「ニチモウ」）に対し、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を提供いたしました。

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」は、企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした融資です。

三井住友銀行のポジティブ・インパクト・ファイナンスの運営体制について、ポジティブ・インパクト金融原則（※1）に適合する旨のセカンドオピニオンを第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（代表取締役社長：山崎 宏）より取得しています（※2）。

【本ローンの概要】

契約日	2024年9月26日
契約金額	30億円
貸付人	株式会社三井住友銀行
契約期間	5年

ニチモウは、漁網会社としてスタートし、現在は食品、海洋、機械、資材、バイオティックス、物流の6つの事業を展開しています。また、持続可能な社会を目指し、CSR活動や環境に配慮した製品開発、リサイクル、衛生資材の提供などに取り組んでいます。2019年に創立100周年を迎え、今後も時代の変化に対応しながら新しい事業を生み出し続けることを目指しています（※3）。

三井住友銀行がニチモウに対しポジティブ・インパクト・ファイナンスを提供するにあたり、上記を踏まえニチモウの事業活動に関連する重要なインパクト領域を評価して決定した重点取組項目及び評価指標は次の通りです。

<重点取組項目及び評価指標>

重点取組項目		目標・評価指標 (KPI)	関連する SDGs
海洋環境の保全と持続可能な水産物の生産・供給に貢献する	気候変動への対応	<目標> ・2030年までに GHG 排出量削減率 46%以上 (2021年度比) <評価指標> ・GHG 排出量削減率	
	資源循環推進の事業別取り組み	<目標> ・2030年までに食品、海洋、機械・資材の各事業における環境配慮商材(※)の売上高 30%以上 <評価指標> ・食品、海洋、機械・資材の各事業における環境配慮商材が売上高に占める割合	
	水の使用量削減	<目標> ・2030年までに水の使用量削減率 10%以上 (2023年度比) <評価指標> ・水の使用量削減率	 
社会課題に取り組む多様な人材育成と、安心して活躍できる労働環境の整備	男女問わず、能力を發揮できる職場の整備	<目標> ・2030年までに女性採用比率 50% ・2030年までに女性管理職比率 10% <評価指標> ・女性採用比率および管理職比率の向上	 
		<目標> ・2030年までに男性育休取得率 100% <評価指標> ・男性従業員の育児に係る休暇取得率向上	 
企業規範順守を意識したガバナンスとコンプライアンスの徹底	重要法令の遵守	<目標> ・重要法令研修の参加率 100% <評価指標> ・重要法令研修の参加率	

※環境配慮商材：

食品：環境配慮認証商材

海洋：バイオ生分解性・生分解性素材を用いた漁網・漁具、廃棄漁網リサイクルの漁網・漁具

機械・資材：自然冷媒冷凍機、各種熱交換器、その他の環境配慮商材

<ご参考>

※1 ポジティブ・インパクト金融原則とは

SDGs の達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017 年 1 月に国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」、「枠組み」、「透明性」、「評価」の 4 つの原則で構成されています。

※2 株式会社格付投資情報センターホームページ参照

[サステナビリティファイナンス | 信用格付関連 | 格付投資情報センター \(r-i.co.jp\)](#)

※3 ニチモウ株式会社ホームページ

<https://www.nichimo.co.jp/>

をご参照ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。